

令和元年度「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の方策（篠島小6年生）

☆学力調査について ○よかった点 △課題のある点

国 語

- 「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」問題がよくできていました。朝の読書タイムの取り組み、読み聞かせや新聞記事の読み取りを行うコミュニケーションタイムでの活動の成果が現れていると思います。
- △「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」問題の正答率が低いことが分かりました。話の中心を読み取る力や要点をとらえて文章で表現する力を身に付けさせる指導を行っていきます。
- △『調査の対象（たいしょう）』、『関心（かんしん）をもってもらう』といった同音異義の熟語の書き取りを苦手に行っている児童が多いようです。6年間の復習を進めていく中で重点的に取り組ませていきます。

算 数

- 「棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取る」問題がよくできていました。
- 「示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、他の計算にも適用する」問題がよくできていました。
- △「減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめる」問題の正答率が低いことが分かりました。与えられている資料を多面的多角的な視点で読み取り、判断したことを文章で表現する学習活動を工夫していきます。
- △「図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成する」問題や「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する」問題の正答率が低いことが分かりました。図形の特徴をとらえさせる問題や式が意味することを記述で説明する問題に取り組ませていきます。

☆生活習慣や学習環境に関する調査について

- ・朝食を毎日とる児童の割合が高い一方で、起床・就寝時間が不規則な児童が多いことが分かりました。学校生活を前向きに過ごせるよう、ご家庭での生活習慣についてのご協力をよろしくお願いします。
- ・学校以外で読書をしている児童の割合が少ない傾向であることが分かりました。読書で得られるものは、知識や読解力のみならず、自分の頭で考える習慣も身に付くと言われていています。興味のもてる本からで構いませんので、ご家庭の方でも声かけをお願いします。
- ・1日当たりの勉強時間については、1時間より少ないと答えた児童が半数を占めました。学習の内容としては、ほとんどが学校での宿題であり、予習をしたり、復習をしたりする児童は少ない傾向です。自主学習ノートへの取り組みを工夫しながら、主体的に学ぶ姿勢を育てていきます。
- ・「将来の夢や目標がある」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた児童が多くいます。一方で、「失敗を恐れなくて挑戦する」「自分にはよいところがある」に対して多くの児童が否定的な回答でした。学校生活における児童のがんばりを褒め、ありのままを受け止めることで、自己肯定感を高めていきます。